

会 議 録

会 議 名	令和3年度第3回野田市総合計画審議会
議題及び議題毎の公開又は非公開の別	野田市総合計画後期基本計画の素案について（公開） (1) 基本目標3（豊かな心と個性を育む都市） (2) 基本目標6（活力とにぎわいに満ちた都市）追加分 (3) その他
日 時	令和4年3月23日（水）午後1時30分から4時まで
場 所	市役所高層棟8階 大会議室
出席者氏名	<p>会 長 内山 久雄</p> <p>委 員 加藤 満子 五味 良仁 佐々木 盛次 佐藤 隆八 鈴木 昭夫 清宮 絹江 瀬能 千恵子 高須賀 晴子 中村 卓史 林 元夫 平野 滋 古矢 勝</p> <p>事務局 今村 繁（副市長） 生嶋 浩幸（企画財政部長） 金田 昌丈（企画財政部次長） 齋藤 剛（企画調整課長） 池岡 貴志（企画調整課副主幹（兼）企画係長） 花立 厳（企画調整課主査） 石川 幸一（企画調整課主任主事）</p> <p>職 員 染谷 篤（教育長） 中沢 哲夫（水道事業管理者） 宮前 雅明（建設局長） 上原 正夫（市政推進室長） 宮澤 一弥（総務部長） 牛島 修二（市民生活部長） 宇田川 克巳（自然経済推進部長） 柏倉 一浩（環境部長） 坂齊 和実（土木部長） 浅野 開作（都市部長） 渡邊 一雄（都市部参事監） 直井 誠（保健福祉部長） 平野 紀幸（児童家庭部長） 山田 充子（会計管理者） 根本 一弘（議会事務局長） 鈴木 廣（選挙管理委員会事務局長） 飯塚 浩司（監査委員事務局長） 山下 敏也（教育次長（兼）生涯学習部長） 下川 泰弘（学校教育部長） 染谷 隆徳（農業委員会事務局長） 菅野 透（消防長）</p>
欠席委員氏名	石川 雅浩、伊藤 香織、遠郷 順子、鴨狩 真義、知久 久利子、西尾 健太郎、横川 しげ子
傍 聴 者	1名
議 事	1 開会 企画財政部長 令和4年3月23日午後1時30分、開会を宣言し、資料の確認を行った。また、当初予定していた追加分も含めた4つの基本目標の素案に対する審

議を2回に分割すること及び会議の公開について、個人情報等の不開示情報を取り扱うことがないため、原則公開とすることを説明した。
議事進行を会長に依頼する。

2 議題

野田市総合計画後期基本計画の素案について

会長 本日の会議は、委員数20人のところ13人が出席し、委員の過半数が出席しているため、野田市総合計画審議会条例第5条第2項により、成立していること及び傍聴者が1名おり、入室を許可したことを報告する。

(1) 基本目標3（豊かな心と個性を育む都市）

会長 それでは、議事に入らせていただく。今回の野田市総合計画後期基本計画の審議については、先ほど事務局から説明があったとおり、当初予定していた三つの基本目標と追加分を含めた四つの議題を2回に分割し、本日は基本目標3及び基本目標6の追加分について審議する考えが事務局より示されたことから、そのように進めたいと思うので、御協力をよろしく願います。なお、前回の第2回審議会において審議いただいた基本目標6のうち、二つの施策について一部事業の追加等を行っており、本日審議を予定している基本目標3の各施策とも大きく関連していることから、委員の皆様には、今回追加分として審議をお願いするものである。本日の審議の方法だが、まず基本目標ごとに「事務局からの説明」を受け、それに対して委員の皆様から質問を頂く。その後に委員の皆様からの意見を伺う形で進めたいと考えているので、よろしく願います。それでは、議題(1)「基本目標3（豊かな心と個性を育む都市）」について、事務局より説明をお願いする。

<事務局説明>

- ・修正比較表1ページ目No①、基本方針1「質の高い学校教育の実現」、施策「子どもの学力の向上や、個性・能力を伸ばす教育の推進」、素案63、64ページについて、主な事業に「子ども未来教室の充実」及び「GIGAスクール構想の実現」を新たに加え、施策の内容に基礎学力の向上や学習習慣の定着のための学習支援等の目的と推進内容を記載したことを説明
- ・修正比較表1ページ目No②、基本方針1「質の高い学校教育の実現」、施策「鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝える」、素案63、64、65ページについて、新たに「鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝える」を施策に加えるとともに、主な事業に「鈴木貫太郎記念館の再建」、「鈴木貫太郎翁に関する資料の収集・保管及び調査・研究」、「公立小中学校における鈴木貫太郎翁の出前授業や道徳授業等の充実」、「各地域の地域資源を活用した観光との融合」、「鈴木貫太郎翁の功績を広く後世に伝える魅力発信」の五つの事業を新たに加え、施策の内容に鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝えるための取組などを記載したこと及び郷土の偉人である鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝えていくことが重要であることから、基本方針2「生涯学習や郷土愛を育む学習の推進」、施策「郷土愛を育む学習の推進」から項目を独立させたことを説明
- ・修正比較表2ページ目No③、基本方針2「生涯学習や郷土愛を育む学習の推

進」、施策「郷土愛を育む学習の推進」、素案69, 70, 71ページについて、主な事業に「郷土の偉人の顕彰」、「伝統文化や民俗芸能の保存・伝承」を新たに加え、施策の内容に鈴木貫太郎翁や関根金次郎十三世名人、山中直治を始めとする野田市の偉人に対する顕彰と、郷土愛の更なる醸造と理解を深め、併せて伝統文化や民俗芸能の保存、伝承支援に取り組んでいくことを記載したことを説明

- ・修正比較表2ページ目No④、基本方針2「生涯学習や郷土愛を育む学習の推進」、施策「生涯スポーツの推進」、素案69, 71ページについて、主な事業に「スポーツ推進都市宣言及びその推進」「総合公園陸上競技場の整備」「総合公園野球場の整備」「福田体育館の整備」「旧関宿クリーンセンター跡地、遊休農地を活用した施設整備」の5事業を新たに加え、施策の内容に具体的な取組を示すことでハード・ソフト両面からスポーツの推進を図るために追記したことを説明
- ・修正比較表2ページ目No⑤、基本方針3「国際交流の推進」、施策「国際的な交流と協力の推進」、素案73ページについて、主な事業として記載されていた「国際交流協会の支援」、「外国人向け生活情報ガイドブックの充実」を、それぞれ「市民及び国際交流協会等と協働による国際交流の推進」、「多言語による生活情報の提供の充実」へ修正し、施策の内容に多文化共生の推進として、市民も含めた協働による推進、ICTの活用による情報提供の充実、多文化共生の推進のための取組や国外都市との友好事業の実施に向けた検討について記載したことを説明

会長 ただ今事務局から説明があったが、質問はあるか。

会長 鈴木貫太郎翁の功績を皆に知らせる場合、表面的には終戦時の内閣総理大臣ということも多くの方が知っているが、内容によっては戦前教育のぶり返しになることも考えられる。功績を後世に伝えることは重要だとは思いますが、どの程度まで伝えることを考えているのか。

古矢委員 日本の歴史を考えていくと、終戦は非常に大きな時代の変革点であり、鈴木貫太郎翁は海軍で日本を守るといふ大和魂をたたき込まれた本当の武人である。そういった人の心構えは本当に見習うべきだと思っており、いろいろな面で貫太郎翁を見直す良い機会だと思うので、事業を是非進めてもらいたい。また、今郷土博物館で企画展を行っているが、有名な武人に初見良昭氏がいる。初見氏は世界的にも尊敬されている武人であり、野田市の偉人の一人に加えても良いのではないかと思う。

鈴木委員 私は鈴木貫太郎記念館に5、6回足を運んでおり、一番最初が昭和40年頃、それから最近になって水害で閉館する前にも行ったが、それほど変わっている印象は受けなかった。そういった意味では、大事な物が有ることは分かるが、やはりPR等が少なかつたのではないかと。特に最後の方は施設が古くなったという印象と、中にある展示物も余り大事にされていない印象を受け、寂しく思った。

生涯学習部長 関宿地区に住んでいる方に比べて、野田地区に住んでいる方は鈴木貫

太郎翁を知らない方が多い。小学6年生を対象に鈴木貫太郎翁の功績を伝えることを目的に実施している出前授業については、今後も継続していきたい。また、周知のため、市営の博物館等を利用して臨時的な展示会等も開催していきたい。

佐々木委員 学力推進について、野田市は他市が取り組んでいないことを実施していると思うが、その事業について検証はしたのか、もし検証していなければ意見を伺いたい。

教育長 土曜授業については、毎年、土曜授業検証委員会を設置し、検証を行っているが、子ども未来教室についてはこれまで検証を行っていないため、今後実施したい。

佐々木委員 土曜授業検証委員会の結果は公表されているのか。

教育長 土曜授業検証委員会の結果は公表していない。4年度に大々的な検証事業を行い、公表する予定である。

加藤委員 基本構想3では質の高い学校教育の実現が掲げられているが、その一つとして特別支援教育がある。先日の議会で議員の質問に、特別支援教育の資格を持つ人は何パーセントかという質問があったが、どのくらいか。

教育長 特別支援学級と通級指導教室に通う生徒を受け持っている教員は約40パーセント、資格取得を目指している人は約30パーセントとなり、資格を取ると合わせて70パーセントとなる。しかし、特別支援学級は年々増加しており、資格を有していない教員が担当となる場合もあるため、その教員に対して資格を取るよう支援しているが、取得に約3年かかるため、70パーセントを超えることは難しい。なお、全国的に見ると特別支援教育、特別支援学級の担任で免許を有している教員は全国的に約30パーセントというのが現状である。

加藤委員 野田市総合計画前期基本計画の進捗状況一覧表の中で言えば、評価が全て○になっていたため、△があってもいいのではないかと。ある議員の質問に対する答弁の中に特別支援教育の個別支援計画等が進んでいけるように、切れ目のない教育が進むためには、モデル校が必要なのではないかとという提案があったが、十分吟味して進めていきたいという教育長の回答にもあったように、修正後にその内容が追加できればいいと思う。

中村委員 ICT化の整備によるインターネット環境の変化はいいか。

学校教育部長 昨年8月に児童一人に1台のタブレット型のパソコンの整備が完了し、オンラインを活用した学習機会の確保に役立っている。タブレットを活用したデジタル教材を利用し、児童の学習理解を深めていきたい。教職員に関しては、自分たちで対策を立てるだけでなく、グーグル社の方を招いて行う研修を活用し、技術の向上に役立て、教職員の能力向上に取り組んでまいりたい。単にタブレットを利用するだけではなく、児童の学習意欲が高まるよう、市が環境を整えていき

い。

古矢委員 G I G Aスクール構想は余り馴染みのない言葉であり、分かりにくいので、他の言葉に言い換えられないのか。児童にパソコンを与え、満足できる学習を受けられるのか不安に思う。教育長の意見を伺いたい。

教育長 G I G Aスクールという言葉は全国的に使われているため、この名前を使わせていただいた。児童一人に1台のパソコンを渡して、操作方法の勉強をするわけではなく、学習に興味を持たせるための道具として扱いたい。グーグル社と自治体が連携しているのは千葉県で野田市だけであるため、より子供たちが興味関心を持ち、取り組めるような学習方法をグーグル社と連携して進めていきたいと考えている。また今後どのように学習能力を身に付けられるかということも考えていきたい。

平野委員 ⑤基本方針3「国際交流の推進」について伺うが、この2ページの⑤修正項目の中に、外国人等に向けた多言語サービス等のICTを活用した情報提供の充実があるが、多言語サービス等とは具体的にどのようなものであるか。鈴木貫太郎記念館については野田市を紹介するパッケージツアーを考えてみてはどうかと思う。

事務局 外国人に対してのICTを活用した方法については、スマートフォンアプリのカタログポケットを活用することにより、市報や市議会だより、またハザードマップ等を10言語に自動翻訳し情報を提供している状況である。また、ごみの出し方、資源の出し方のパンフレット等を5言語に翻訳し、別冊で用意をするなど、対象となる言語を必要とされている方に、直接届くような紙媒体のものを用意しているところである。

林委員 ごみの出し方については、さんあ〜るという英語、中国語、タガログ語、ベトナム、韓国・朝鮮語で訳される便利なアプリがあるので周知をお願いしたい。

佐々木委員 先ほど話に挙げられたICTの活用についてだが、教える側の教員の技能により、授業の内容に差が出ないように、教員に対するICT活用についての研修等について早急な対応をお願いしたい。

学校教育部長 研修については、各学校のICT担当を集めて基本操作等の研修を行っており、自分の学校の職員を指導している。令和4年度についても同様に研修を行い、教員の授業力の向上に努めている。

鈴木委員 教育委員会が野田市の教育の中でどのように特色を出していくかが重要であると考えているが、野田市で取り組んでいるサタデースクールの現状はどうか。

教育長 サタデースクールは自由参加であったため、参加率が年々減少し、平成25年に終了し、26年度から土曜授業が始まった。土曜授業の検証アンケートでは、

現在のままの土曜授業の形で良いと考えている教員は2割から3割という結果になり、児童の学習力をつけるのは月曜日から金曜日までの授業が重要だと考えている。教員がいかに関心を持って児童に学習への興味を持たせるかが大切なため、他の学校に見学に行ったり、授業参加を行ったりと研修を重ね、授業力をつけるための取組に力を入れていきたいと考えている。

古矢委員 食育に関して教育長はどのような考えをお持ちか。

教育長 日常の基本的な生活習慣を整えるためには、3食しっかりと食べることが大切だと考えている。年間指導計画等を作成し、食育を進めている。また、野田市では児童に対し、自分にはいいところがあるか、という内容のアンケートを行っている。この質問の中で、全国の児童生徒と比べて、小中学校とも約10ポイント低く、野田市の児童は自信を持っている子が少ない。そのため、自分の得意なことや好きなことを発見する機会を増やすとともに、自信を持てるような様々な機会を与えていきたい。

古矢委員 心も体も健全でなくては自信も持てないため、野田市もより食育を進めてほしい。

平野委員 修正比較表ページ2ページ目の④「生涯スポーツの推進」の主な事業に「スポーツ推進都市宣言及びその推進」とあるが、具体的にどんなことを取り組んでいるのか、また、3ページに⑥観光との融合ということで、サイクリングを勧めたい。

自然経済推進部長 スポーツ推進都市宣言について詳しく説明をさせていただきたい。スポーツは人と地域との交流を促進し、人間関係の構築に役立つと考えている。資料にはスポーツ推進都市宣言という形で取り組むと記載されているが、スポーツ以外にも、文化活動等で夢や希望を持って取り組んでいる方も大勢いることから、文化活動も加えた形での都市宣言を行いたいと考えている。そのため、関係する審議会等で意見を頂いた上で取りまとめたスポーツ推進都市宣言の内容について次回以降の総合計画審議会でも説明させていただきたい。

鈴木委員 スポーツ推進都市宣言について発言させていただく。野田市は東葛地区の6市の中で2番目に土地が広く、河川敷が非常に広い。スポーツ協会ではそのような場所を活用してスポーツを推進する取組をしているが、トイレ等のインフラ整備が十分になされておらず、人が集まりにくい。管理が大変なことは承知しているが、河川敷や堤防等の土地を活用したイベントについて検討していただきたい。

会長 私から二つの意見だが、指導方針や指導要領にとらわれず、郷土愛を育む教育をする覚悟を持ってほしいということ、また国際交流については、直接外国人と接するということが余り書かれていないため、野田市の外国人に対する取組についてももう少し検討していただきたいということである。

教育長 会長の一つ目の意見について、小学3年、4年生でまず「私たちの野田市」

を勉強し、次に「すすむ千葉県」を勉強しており、現在も野田市についての教育はしている。鈴木貫太郎翁については、来年度から小学校6年生の社会の教科書に特設ページを作ってもらよう話を進めており、また、中学2年生の歴史の教科書にページを作り学習する計画となっている。

加藤委員 会長の二つ目の意見について、外国人の子どもを支える様々な施設で働く方の苦勞がわかるような表現を是非加えていただきたい。

佐々木委員 野田市国際交流協会のことであるが、成人に対しての日本語教室だけでなく、子供に対しての教育もお願いしたい。

会長 他に意見がなければ、次の議題に移らせていただく。

(2) 基本目標6 (活力とにぎわいに満ちた都市) 追加分

<事務局説明>

- ・「基本目標6 活力とにぎわいに満ちた都市」については、これから説明する「地域資源を活用した交流人口の拡大」及び「文化・教育水準の向上」の施策を一部、追加、修正等を行っており、基本目標3の施策の「鈴木貫太郎翁の功績を後世に伝える」や「郷土愛を育む学習の推進」、また「子どもの学力の向上や、個性・能力を伸ばす教育の推進」に深く関連していることから、共に審議していただけるよう、今回の審議に追加していることを説明。
- ・「地域資源を活用した交流人口の拡大」については、前回の審議内容である「道の駅整備事業」「野田市の魅力発信事業」「スポーツ推進都市宣言及びその推進」の3業だが、新たに「鈴木貫太郎記念館をはじめとする地域資源を活用した観光との融合」を追加したことを説明
- ・「修正箇所比較表」3ページ、番号⑦番、基本方針2「定住の促進」、施策「文化・教育水準の向上」素案は110ページの、施策の内容に子どもたちの多様な可能性を自ら発見させ、個々に応じて育成するための今後の学習方針を追加するとともに、これまでの土曜授業の検証及び今後の方針について記載を追加、修正したことを説明。

林委員 観光イベント振興について記載されているが、イベント会場に行くために、車がないと行けないことが非常に残念である。まめバスの時刻を調べたことがあるが、乗り継ぎが悪く本数が少ないため、イベントのときには本数を増やすなどにより野田市をPRすべきではないのか。また、縦長の地形をうまく生かしたPRの検討をお願いする。

鈴木委員 林委員の意見に加えて、野田の商店街付近を中心に道路の整備の検討を進めていただきたい。

佐々木委員 素案の112ページに出前講座と書かれているがどのようなものか、また、出前講座を依頼すればどの部署でも対応するのか。

会長 他にどのような講座があるのか併せて伺いたい。

企画財政部長 自治会単位で依頼を頂き、消費センターの職員が消費生活に関する出前講座を開くもので、112ページに記載されているものは消費生活に関する講座となる。

佐々木委員 市の職員が出前講座を開くことはあるのか。

副市長 各部の担当が自治会の要望に応じて対応する例はあるが、現状は開催していない。今後は検討を進めたいと考えている。

平野委員 111ページの魅力ある計画的なまちづくりの推進の中で、ソーラーパネルについての話題が上がったが、以前テレビで建物を作って開発する場合3割を緑地にするという条例を作ったという話を聞いて、野田市にも同様の条例はあるのか疑問に思った。また、新聞で千葉県松戸市がコロナ禍で親子の孤立防止対策等に力を入れ、育児の町ランキングの首位になったという記事を見て、野田市にはどのような取組があるのか疑問に思った。

都市部参事官 敷地の面積規模にもよるが、敷地の面積に対して5%は緑地・公園にすることを定めた開発指導要綱というものがある。工業系のものだと千葉県の条例等で10%は緑地・公園にすると定められているものもある。

古矢委員 QOLについての市の意見を伺いたい。

企画財政部長 成長の促進に重点を置いて取り組む観点から考えると、世代を限定するのではなく、広い世代の生活の充実につながる取組について考えていきたい。総合計画に置き換えると、幅広い世代に目を配りながら、個別計画でより細かい施策が理解できるような形にしていきたいと考えている。

児童家庭部長 平野委員より子育て支援に関する質問があったが、野田市では現在清水地区に建設している児童センターを中心に、既存の子ども館の6館を子育て支援拠点として位置付け、ネットワークを組んでいく。年齢別の子どもたちに関する事業やサークルを作り、子育てに関することはできるだけ保育士が相談を受けられるような体制をとっていきたいと考えている。

林委員 道の駅整備事業についての意見が二つある。一つ目は国道16号沿いに大きな道の駅を作り、野田市をPRするのにふさわしい名称を付けること。2点目は、野田市は千葉県の北部に位置しており様々な情報発信ができると思うが、市としてどういった取組をしていくのか伺いたい。

自然経済推進部長 道の駅については、国道16号沿道を第一候補として、候補地の選定作業を道の駅検討委員会等で実施するとともに、基礎計画の作成を行っている段階である。情報発信については、新たに広報部門と観光部門、魅力推進部門を統合したPR推進室の設置により、今後PR活動に努めていきたいと考えている。

会長 地球温暖化による異常気象等での洪水被害を考慮し、道の駅の防災拠点としての役割についても検討してはいかがか。

佐々木委員 110ページの市民の学習活動への環境整備について、市民活動の広報として生涯学習施設や各公民館等へのチラシ配架やポスターの掲示をしているが、内容や掲示期間について適切に管理していただきたい。また、学習拠点である各公民館等でのWi-Fi環境整備をお願いしたい。

企画財政部長 公民館のWi-Fi整備については一部の施設について3月議会に新年度予算を計上しており、順次整備していきたいと考えている。

生涯学習部長 公民館等のポスターやチラシについては適切に管理していきたい。

鈴木委員 自治会や公民館は人とかかわりの中で役立ち、大切にしなければならないと感じる一方で、高齢化に伴い、自治会を辞める方が多く、若い人の力を取り込んでいく案があれば伺いたい。

会長 野田市は自治会活動や老人クラブ活動に対し、補助金を交付しているのか。

市民生活部長 規則に基づき補助金を交付している。自治会組織への加入率の低下や自治会役員のなり手が高齢化によって不足しているという問題について意見を頂いているが、現在自治会の負担軽減、コミュニティの維持、加入の促進の三つの基本的な考え方から自治会に関する見直しを進めている。

会長 補助金を交付している自治会の数は年々減少しているのか。

市民生活部長 現在は400あるが、実際には自治会の解散等により徐々に減少している。

保健福祉部長 老人クラブについては、個々の地域のクラブへの補助金や連合会への助成金を負担している。老人クラブでも高齢化が進み会長のなり手がいないということで解散をしている。平成28年度には95クラブあったが令和2年度は79クラブとなり、5年間で16クラブ減少している。

平野委員 東京直結8号線の件での質問だが、都内に地下鉄の新区間が開業し、押上まで開通すると新聞記事にあったため、そこから亀有、そして野田市につながるのではないかと考えた。簡単に進捗しないとは思いますが、最近の動きについて伺いたい。

企画財政部長 東京都内は東京メトロの関係で話が進んでいるが、東京直結8号線は野田、松伏、吉川、越谷や草加が関係し、国に要望を行っている。都内が開通しなければ着工しない、ということではないため、関連市町とともにできる限りの要望活動を続けていきたいと考えている。

林委員 自治会をまとめる連合会についての対策を検討していただきたい。

会長 ほかに意見等はあるか。

<意見なし>

(3) その他

会長 意見がないようなので、その他について事務局から説明をお願いします。

<事務局説明>

- ・野田市総合計画後期基本計画の策定については、十分な審議を経た上で後期基本計画を策定したいと考えていることから、期間を来年度まで延長することを説明
- ・次回の総合計画審議会の開催について説明

会長 委員の皆様から何か発言はあるか。特にないようであれば、閉会とさせていただきます。

<発言なし>

3 閉会

会長 午後4時、閉会を宣言した。